日本原子力学会 新型炉部会

第２回 新型炉シンポジウム

第４世代炉の開発状況と今後の発展（Part 2）

2019 年 2 月 27 日（水）　13:30～17:30（受付開始 13:00）

早稲田大学西早稲田キャンパス 55 号館 N 棟 1 階大会議室

ねらい

新型炉部会は、第４世代原子炉および将来の原子力エネルギーシステムならびに周辺核燃料関連技術に関する研究活動を支援し、その開発発展に貢献することを目的としています。その目的に基づき、新型炉関連の研究・技術開発に関する理解を促進するため、まずは将来の原子力エネルギーシステムを幅広く紹介していくこととし、第４世代炉の開発状況の情報共有及び今後の研究の発展性等について、2018 年 11 月 14 日開催の第 1 回に続いて、第 2 回新型炉シンポジウムを開催することとしました。

日本原子力学会 2018 年春の年会の部会企画セッションにおいて、第４世代炉の開発状況を講演しましたが、時間の制約により十分な情報提供となっていませんでした。そこで、今回のねらいは、十分な時間をとって情報交換・議論を深めることです。第 3 回以降は、要望に応じてシンポジウム内容を充実していきたいと考えております。

プログラム

コーディネータ: 新型炉部会　堺 公明（東海大学）

１．開会の挨拶

13:30～　新型炉部会部会長　伊藤隆哉（三菱ＦＢＲシステムズ株式会社）

２．講演

13:40～　「新型炉部会戦略ロードマップの検討状況」　笠原直人（東京大学）

14:20～　「ナトリウム冷却高速炉の開発状況と計画」　上出英樹（原子力機構）

15:20～　「ガス冷却高速炉の開発状況と計画」　永沼正行（原子力機構）

16:00～　休憩

16:10～　「超臨界圧軽水炉の研究開発」　山路哲史（早稲田大学）

３．総合討論

17:00～　「新型炉への期待」

４．閉会の挨拶

17:25～　新型炉部会副部会長　小竹庄司（日本原子力発電株式会社）

５．情報交換会　17:40～19:00（63 号館 1 階　ロームスクエア・ラウンジ）

※演題と講演者は変更の可能性があります。

言語：日本語

定員：180 名

シンポジウム参加費：一般　1,000 円（日本原子力学会会員は不課税、非会員は税込）

　　学生　無料

情報交換会参加費：2,000 円（税込）

（事前申込みの上で、当日現金でお支払(領収書発行)をお願い致します）

申込期限：2019 年 2 月 17 日

申込方法： yamano.hidemasa@jaea.go.jp に下記を連絡願います。

1)氏名（ふりがな）

2)所属

3)会員区分（正、非、学生）

4)連絡先（E-mail/電話）

5)情報交換会の出欠

担当： JAEA 山野秀将

共催：早稲田大学・共同原子力専攻

最寄り駅からのアクセス（西早稲田キャンパス）

- JR 山手線 高田馬場駅から徒歩 15 分
- 西武新宿線 高田馬場駅から徒歩 15 分
- 副都心線 西早稲田駅に直結
- 東西線 早稲田駅から徒歩 22 分

早稲田大学西早稲田キャンパス 55 号館 N 棟

(https://www.waseda.jp/top/access/nishiwaseda-campus)